

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

26

記入 昭和 61 年 9 月 1 日

調査者氏名 武下 煥治

(41386026)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Fish Culture (Prawn)	新規	(男) 1 人	62 年 12 月	
	(日本語) 182 養殖 (エビ)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Department of Cult., Division of Primary Industry
(日本語): ガルバ州 第一次産業局
- ② 隊員勤務先名称: Balmura Fisheries Station 日本語名称 (バムラ水産所)
所在地: バムラ 主要都市 (ケマ) から 120 キロ
- ③ 事業規模及び内容:

④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Research Officer (エビ養殖調査員)
- ② 技術の範囲: 車エビに使用する知識とその養殖技術
- ③ 業務の形態: ガルバ州には車エビに属する7つのリバー、バタエビなどの生産が年約1200ト以上あり、その内400トはガルバ州政府の水産会社が水揚げしている。近年資源(魚)の減少の意味から、稚魚養殖の必要性が認識され、今回の調査に繋がった。エビの養殖プロジェクトの成功に最も重要は、潜在資源の調査、エビの生態調査であり、隊員はそのような調査研究を基本として行ない、その後稚魚養殖の試験
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 5名程度。このプロジェクトは州政府大学、エビ養殖に力を入れている。このプロジェクトは州政府と力を注いでいる。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 型プロジェクトとする計画があり、その基礎確立に対する期待は大きい。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

エビ養殖は PNG 国家プロジェクトとする計画があり、日本の技術者に大いに期待している。エビ養殖に関心している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

エビ(車エビ)の養殖(稚魚養殖)に関する研究した経験、又は、実務経験と有する大学生 (水産高又 大学)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 13 日

調査者氏名 松永善伸

小野 浩

416 86 101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
トンガ王国	(現地公用語) Fish Culture	新規	(男) 人	63年 4月	
	(日本語) 182 養殖	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		
(1) 配属先					
① 配属先名称 (現地公用語) MINISTRY OF AGRICULTURE, FISHERIES AND FORESTRY					
(日本語): 農水庁					
② 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称 (水産局)					
所在地: Sopo 主要都市 (Nuku'alofa) から 4 キロ					
③ 事業規模及び内容: トンガ王国水産局は 機関部 造船部, 調査部 事務部 とに分かれ 調査部は ともに Fisheries officer である ランギ夫妻のもとに 3人のトンガ人と 2人の Peace Corps Volunteer が所属している。					
④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 養殖池 (60 ^m × 35 ^m) 1基, コンクリートプール (10 ^m × 2 ^m × 1.4 ^m 高) 6基 (揚水循環設備は使用不可) 実験室 2部屋					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 水産局 調査部 養殖担当 ボランティアとして勤務					
② 技術の範囲: 養殖に関する専門的知識と経験 及び 水産全般に関する知識					
③ 業務の形態: ボラ (Mugil cephalus) と海藻 (Eucheuma Striatum) の養殖及び調査 ボラ養殖はその基礎データの収集, 養殖方法の確立とトンガ国内におけるその可能性の調査 および ボラ稚仔魚・成魚の天然資源量調査。 海藻養殖は養殖方法は確立しているが, 適正成育環境条件・適正地域の調査等に 当たる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: Hestone Aloua 21才 Tongan college 卒業 水産については特に学ばず, 英語堪能					
⑤ 現地で利用できる機材: 水質検査器 (米製) 顕微鏡, 流速計					
⑥ 第3国人等の配置状況: Peace Corps Volunteer 1人 (Vava'u で Oyster の養殖)					
⑦ 使用する言語: 英語 及び トンガ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ボラはトンガ人の好む魚であり, ボラ資源の減少にともない ボラ養殖に対する関心 期待は 大変大きいものがある。ボラ資源の解析とともに, 南太平洋で まだ成功していないボラ養殖を成功させたいと考えている。また Eucheuma 養殖は 漁師の副収入源 となるべく期待されている。1988年には 水産局移転の計画があり, 現在の Sopo の水産局の建物 を Aquaculture Center とする予定。					
(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 水産系の大学で (養殖) を専攻し, 英語力のある者が 望ましい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 8 月 13 日

調査者氏名

山崎 昇

22786006 / 191

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ共和国	(現地公用語) Agricultural Statistics	新規	(男) / 人	62 年 12 月	
	(日本語) 191 農林統計	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Agriculture, Department of Economic Research & Planning
(日本語): 農業省 経済調査企画局 Service
- ② 隊員勤務先名称: 農業省(本省) 経済調査企画局 日本語名称 ()
所在地: Accra (アクラ) 主要都市 (アクラ) から中心部 3 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 農業統計調査, 農業経営改善, 農産物市場調査, 農業開発プロジェクト事業等を担当している。職員は本省及び各リジョン(10ヶ所)にジュニア約 600 名, シニア約 20 名が勤務している。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 米 Wang 社製 PC-XT 用 コンピューター (Basic 言語) が稼働している。その他一般事務機器を除いて、特別な設備は設置されてはいない。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Senior Agricultural Economist (上級 農業経済官)
- ② 技術の範囲: 農業統計の計算・作表, 農業経営・農産物市場分析, 各種農村調査等 農業経済学全般
- ③ 業務の形態: (A) 本省オフィスでのデスクワーク 農業統計, 農業経済に関する分析業務
(B) 農村地域, 地方出張所レベルでのフィールドワーク 各種農村調査, 統計データのコレクションなど

⑤ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 農業経済学, 農業統計学に関する知識は十分持っている。大学及び大学院卒。30代 ~ 40代。

⑥ 現地で利用できる機材: ハンドヘルドコンピューター (JOCV 支援機材)

⑦ 第 3 国人等の配置状況: FAO 専門家 2 名 (日本人 長期, ネパール人 短期)

⑧ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 発展途上国一般の例にも拘らず, 農業統計制度は未確立かつ, 統計の精度はきわめて低いというのが実情である。最終目標は制度確立, 精度の向上にあるが, 現実的には農村構造, 農業経営構造把握のためのノウハウの提供が期待されている。さらに農産物流通問題が認識されてきており, 農産物のマーケティング調査の実施も期待されている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 平均以上の語学力を有すること (とくに高い writing 能力)。
○大学農学部農業経済学科卒業以上。農業経済理論, 農業統計学, 農村調査論に関する十分な知識を有すること。できれば調査研究機関等における実務経験があれば、より望ましい。

※ 事務局記入

173

(60/2 深井隊員の交替)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 16 日

調査者氏名 伊藤 秀行

03486101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
モルディブ 見和国	(現地公用語) Fisheries Statistics (日本語) (192) 水産統計	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Fisheries (日本語): 漁業者					
② 隊員勤務先名称: 漁業者統計センター 所在地: 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 漁業者のプロジェクト・プロジェクト・プロジェクト・プロジェクトのセンターから成り 約 50 名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fisheries Statistician					
② 技術の範囲: 一般的水産統計業務					
③ 業務の形態: 各島から送られてくる月ごとの種類別・漁獲高・ボートの稼働 状況等のコンピュータを使用したデータの収集処理をおこなう。 又 FAO のセンターにあるコンピュータ技術開発プロジェクト: 等の実績評価の ためのデータの収集・及び長期的展望が可能となるような新しい 統計項目の導入。1988年1月 OSB (オペレーター) システムエンジニア が配属となる予定で連携作業をおこなう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: インドネシアで短期の一般統計 の研究					
⑤ 現地で利用できる機材: APPLE 2E, EPSON RX-80 F					
⑥ 第3国人等の配置状況: VSO (Social Economics Resercher) OSB (Computer Operator)					
⑦ 使用する言語: 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 漁業者の下で現在各島下の漁獲高・その種類 等物産統計は更強いに、長期的視野でこの国の水産の動向 を把握してその統計手段の導入を望んでいる。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
・水産統計業務経験3年程度。 ・水産学部卒					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 16 日

調査者氏名

谷 口 世 五 子

(40486102)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィジー	(現地公用語) Fisheries Statistics	新規	(男) 人	年 月 23321早<	
	(日本語) 192 水産統計	交替	(女) 人 (男女不問) 1 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Primary Industries
(日本語): 第一次産業省
- ② 隊員勤務先名称: Fiji Fisheries Division 日本語名称(フィジー水産局)
所在地: スヴァ(ラミ) 主要都市()から キロ
- ③ 事業規模及び内容: フィジー国内の水産を統括している部局で4部所からなる。
(エクステンション, 資源査定及び開発, 技術関係サービス, プロモーションの4部)
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 水産局内の1部屋にコンピュータが設置済み。
それ中での仕事となる。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 水産統計者
- ② 技術の範囲: 水産統計, 小型コンピュータ操作
- ③ 業務の形態: ① 現地スタッフに漁獲量等の資料をコンピュータへ入力する指導をする。
② EDB(経済開発局)のコンピュータネットワークを通じて, ラミ, ラトカ, ランバサの各水産局にあるコンピュータのネットワーク作りの補助をする。
③ 漁船からの資料収集作業の補助。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 水準は高くはない。
- ⑤ 現地で利用できる機材: Hewlett Packard 9836 マイクロコンピュータ。
IBM 小型コンピュータ。

⑥ 第3国人等の配置状況: ｲﾝﾄﾞ人, ｱﾁﾝ人(ﾋﾞｽｺｰ) がいる。

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: フィジー近海の水産資源関係の資料が今までなく、現在
コンピュータを導入して、その整備を行えるために、協力隊の技術力に期待
がかけられている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (大学で統計学及び又は経済学を学んだこと。
小型コンピュータ, データ分析の経験)が必要。英語が堪能であること。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 2 月 2 日

調査者氏名 十川 龍之

364-86-110

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Cerámica (日本語) 陶磁器	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	63年2月 1年程度	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Justicia y Trabajo (日本語): 司法省					
② 隊員勤務先名称: Servicio Nacional de Promoción Profesional (SNPP) 日本語名称(職業振興局)					
所在地: アスンシオン市 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 人材開発, 労働者の教育, 地方開発に貢献する中間技術者の養成を目的として建設された職業訓練機関。アスンシオン市以外の国府5ヶ所に事務所を設け、事業予算は約1億円。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 管理棟, 木工機械, 電気, 印刷等の研修棟。格納庫用の特殊車輪が1軸制地方の巡回指導に活用されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 専門技術者の指導員					
② 技術の範囲: 成型から焼成まで幅広い知識と応用技術が要求される。					
③ 業務の形態: 本国の粘土の調査, 利用法, 焼成物の研究・開発から始め、受入態勢が整えば、系統を築き指導を行う。カンパットの育成も重要な任務となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 現在のところ陶磁器の研究コースのメンバーが、隊到着時までにカウンターパートを指名する(ただし半級経験者)					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在のところ、隊到着時までに、隊員と相談しながら、電気ロケット、機械ロケット、薪窯、電気窯、粉碎機等揃っている(窯のレンガ、セメントは現地で簡単に入手可能)					
⑥ 第3国人等の配置状況: 西独(日本の専門家に及ぶ程度、その裁量で協力を得る)					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: アスンシオン市近郊の伊市、パラグアイ市、植木鉢や各種の置物、カラ、レボを生産しているが、陶磁器は少ない。養院の置物にはデザインや材質等改善が必要である。日本の優れた陶磁器技術者を導入し、国内需要に不足している、年々増大するパラグアイ、アルゼンチン等の観光客の土産品として、また焼成物を開発して、小規模産業の育成に役立てたいとしている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 業務経験2年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

21

記入 昭和 61 年 9 月 1 日

調査者氏名 山下 博三

(41386021)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Ceramic	新規	(男) 1 人	62年 12月	
	(日本語) 201 陶磁器	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Dept. of Madang, Division of Commerce
(日本語): マダング 商工局
- ② 隊員勤務先名称: Business Development Centre 日本語名称(商産業開発センター)
所在地: マダング 主要都市()から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 陶器の制作, 販売, 制作指導

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 陶器制作工場

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 工場主任
- ② 技術の範囲: 陶器の製作, 陶器工場のマネージメント
- ③ 業務の形態: 1984年設立した陶器工場に於いて注向に合った陶器の制作, 販売を行おうが, 一般に及ぶ指導, 現地スタッフの指導が主な業務となる。また, 州内各地の土と網を直し, 制作に必要な粘土の調製と確保に努めると重要である。PNGの伝統的デザインを生かしつつ, 新しいデザインと技術が必要である。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材: 陶器制作に必要な機材

⑥ 第3国人等の配置状況: 英国人ボランティアP(♀) - 1987年7月帰国予定

⑦ 使用する言語: 英語, プチン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

本来の目的とする陶器生産の拡大(技術の普及)の爲、又、製品の質の高度化を図る爲に、日本人技術者の要請となったが、期待は大きい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

陶器の製作技術を有する事(経験)
経験2年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

108

記入 昭和 62 年 12 月 14 日

調査者氏名

八林 明生

03186108

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Bamboo Handicraft (日本語) 竹工藝 210	新規 交替	(男) / 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land consolidation and Rehabilitation Authority (日本語): 連邦土地統合再建局					
② 隊員勤務先名称: Felkra Ulu Berang 日本語名称(フクラウルクワン)					
所在地: Ulu Berang, Trengganu 主要都市(クワン)から 20. キロ					
③ 事業規模及び内容: Felkra Ulu Berang は 約 50 家族位の小さな入植地。周辺に近く 400 人程度の更なる集落の入植地開発が進行中。このスキームは現在ワークインプログレス中である。主なカカオ、ココナツ、パーム油の栽培と加工。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 現在建造中。半完成予定。基礎的な機材は導入予定。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 竹工藝教師					
② 技術の範囲: 北婆羅洲市場向けの竹工藝一般と入植者に推奨する Felkra Ulu Berang は マレーシアの合衆国管理運営に付いてアドバイスを受けることになり、特に竹の材質に於いて					
③ 業務の形態: 商売価値のある生産が重要である。直接指導の対象と見られる入植者の子弟。現在竹工藝 経験者の研修に力をつけている。彼等を中心にその中心者となる希望者の訓練を行う。竹は細かいため、作りが少いため、日本の竹と同じ加工は難しい。当地には竹細工は一部地域で盛んに行われており、シンガポール近隣のクワン州の主要産品と見られる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 20 年前に入植者子弟連帯管理 Felkra Ulu Berang					
⑤ 現地で利用できる機材: 基礎的な機材は準備済み					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 竹工藝製品の価格が低いこと、クワン州の近々に大きな市場があることから、長期的視野に照らし、商売価値のある竹工藝は積極的に取り扱っており、期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 竹工藝 業務経験 1 年以上、アイディア豊富、工業地帯への経験があること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

109-109

記入 昭和 62年 3月 15日

調査者氏名

西村喜継

03186109

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) bamboo crafts (日本語) 210 竹工芸	新規 交替	(男) 1人 (女) 1人 (男女不問) 1人	63年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Federal Land Development Authority (Felda)					
(日本語): 連邦土地開発公社					
② 隊員勤務先名称: Felda Trohah Selatan					
所在地: 総 主要都市(KL)から110キロ					
③ 事業規模及び内容: Feldaはゴムを主要産業とし、ゴムや油ヤシのプランテーションを行なう入植地を300以上持った公の機関。1入植地には300~500戸の入植者が居住し、ゴム、油ヤシにより生計を立てている。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい):					
竹工芸に関する設備は有り。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 竹工芸の先生。					
② 技術の範囲: 竹を利用した販売目的の工芸品の製作ができる。竹の性質に合った商品開発ができればなお良い。					
③ 業務の形態:					
Felda入植地の主婦を対象に、竹工芸のクラスを開き教えると共に、優秀な者を組織して販売用竹工芸品製作のためのワークショップの開設及び運営を指導する。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
対象者は入植者婦人。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
簡単な道具類。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無し					
⑦ 使用する言語: マレーシア語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待:					
ゴムや油ヤシの価格の下落により、Feldaとしては副収入の道を模索しており、婦人の副収入源として織工芸、手芸等が奨励されており竹工芸をその一環として販売用を目的に期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
竹工芸の業務経験1年以上。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 5 月 10 日

調査者氏名

山崎 昇

22989102

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ	(現地公用語) BAMBBOO CRAFT	新規	(男) 人	63年 3月 (88)	
	(日本語) 210 竹工芸	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): NATIONAL VOCATIONAL TRAINING INSTITUTE
(日本語): 国立職業訓練機関
- ② 隊員勤務先名称: Keta Ho Catholic Diocese, HO (日本語名称(ケタ、ホ、カトリック教区))
所在地: HO (ホルワサ内) 主要都市(Accra)から150キロ
- ③ 事業規模及び内容: 木工や婦人子供服等のコースを持つ小規模の職業訓練所である。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): わらぶき屋根に土ブロックの壁を主とした極く簡単な校舎(ほとんどである)。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: インストラクター
- ② 技術の範囲: 日用80%以上のバスケト類からおみやげ用品等輸送に耐えられる品物の製作のこと。初めての試みであり何を伝授するかは赴任後の
- ③ 業務の形態: 生活、交通等の便利は地真に定住(ベースキャンプ)して隣隣の職訓を巡回し一定期間から滞在を繰り返して地元インストラクターや生徒達に必要の技術の指導を行なう。
なお、指導内容、方法、巡回スケジュール等は現地に入ってからそれぞれの現場のニーズに合わせて形のもの各自で作ることになる。

課題である。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 職訓の程度、2nd〜4th年次の間。(※行先は初めてのコースであり詳細不明)
- ⑤ 現地で利用できる機材: エンヤフヤ同教区の援助により手工具が主で、コ、ナ、等が主である。この地方での竹工芸は初めての試みであり工具の運送は赴任後行なう。

- ⑥ 第3国人等の配置状況:
- ⑦ 使用する言語: 英語
- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: 零細農、漁民の子弟(子女)を中心に手に技術を叩きつけ自身の道を開くこと、地場産業を育成することにある

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 上記の技術の範囲業務の可成り、相互間の期待等に柔軟に対応出来る創造性豊かな人材であること。実務経験については特に問わぬが、前述の点に自信をもち取り組む心意気のある人。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 2月 2日

調査者氏名 小畑 泰之

364-86-111

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
パラグアイ	(現地公用語) Trabajos de Bambu (日本語) 210 竹工藝	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年2月 62年度2次隊	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministerio de Justicia y Trabajo (日本語): 司法省内部					
② 隊員勤務先名称: Servicio Nacional de Promoción Profesional (SNPP) 日本語名称(職業振興局)					
所在地: アスンシオン市内 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 人材育成、学術者の教育、地方開発に貢献する中堅技術者の養成を目的として世帯の融資に80設立された職業訓練機関、アスンシオン市内以外に5箇所以上事業所を有し、事業予算は約1億円					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 縫製機、木工機械、電気印刷等の研修棟、職業訓練用の特殊車輦から車輦の、地方での巡回指導に活用されている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 管内技術者の指導員					
② 技術の範囲: 藤、竹を用いた民芸品、生活用品の製作技術全般。					
③ 業務の形態: 豊富に成長する竹の利用法民芸品、生活用品の開発と販売に力を入れる。から始め、受入態勢を整える。生徒を募集し技術指導を行う。アスンシオン市内の育成も重要で任務となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 竹工藝の研修コースが好いので、カウンターパートも好い。階層着化時支給を理由、未だ未経験者。					
⑤ 現地で利用できる機材: 現在あるものは無い。階層着化時、隊員と相談して工作材料、グラインダーその他必要材料を揃える必要がある。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 西独は7日林業協会(印刷)、きのこ栽培、陶磁器の協賛等					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当局は、豊富に竹資源があるが民芸品工業品の素材としての利用が乏しい。年々増大するパラグアイ、ブラジルからの移民労働者の生活向上を図るよう、手製品を販売し、地場産業の育成に資したいとしている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(業務経験者 2年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

10

記入 昭和 61 年 2 月 17 日

調査者氏名 山下 修治

(41386010)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Cane (Bamboo Crafts)	新規	(男) 1 人	61年12月	
	(日本語) 手工芸 (竹工芸)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): Division of Commerce, Western Province.
(日本語): 西プロビンサ 商工局
- ② 隊員勤務先名称: Giringarade Cane Furniture Group (ギリガレデ工業) 日本語名称(ギリガレデ工業)
所在地: グル 主要都市()から キロ
- ③ 事業規模及び内容:

④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: インストラクター
- ② 技術の範囲: 主に藤、竹を用いた工業品の製作
- ③ 業務の形態: 自然に生育する材料(竹など)と利用し、家具等の製作と行われ、デモンストレーションと、現地人スタッフに技術的指導と行われ、製作品は世内に広まる。PUF全工、販布も、グルーポ全員の生活基盤を築く一助とする。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材: ナイフ、ノリ等

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

自立した産業がなく、出稼ぎの99%の地域に於いて、自然に入手できる工業材料と利用し、1カ(地域)の一助とすべく期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

竹工芸に若干の経験と有る等。
(ボランティア可)

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

19

記入 昭和 61 年 3 月 24 日

調査者氏名

鈴木規子

03186019.

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Carpentry	新規	(男) 1 人	61年12月 62 3	
	(日本語) 211 木工	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Culture Youth and Sports (日本語): 文化青年スポーツ省					
② 隊員勤務先名称: Pusat Latihan Belia Dusun Tua 日本語名称(ドゥストウア青年訓練所) 所在地: Batu 16, Dusun Tua, Hulu Langat, Selangor 主要都市(クアラルンプール)から 30 キロ					
③ 事業規模及び内容: 電気, 機械, 自動車等。2~1年半コースが全部で 22 科ある 訓練所は、常時 800 名程度の訓練生と 100 名程度の指導員から成る。平均 年令 20 才のドゥストウア(中卒)に技術を修得させることと目的。政府の訓練					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 建築, 木工コースは 初級・中級部門に分かれ、機材もある。 訓練に必要の機械類は整っている。訓練所内には管理棟, 実習棟, 訓練生の寄宿 (2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 建築 木工コースのインストラクター					
② 技術の範囲: 基礎から応用までの木工技術一般。実質 建築技術が中心。 併せてコースのシラバス改善にも携わる。					
③ 業務の形態: 日本からの技能士資格と同様の形態で、国家技術検定試験があるが、(LLPPKK) の初級, 中級資格の取得を目的とした訓練である。 週 22 時間, 2 年間であり、最初の 1 年は初級取得, 残り 1 年分の企業 実習, 残り半年の中級取得用から成る。隊員は主として中級クラスの理論 及び技術を担当し、直接訓練生に教えることには限るが、初級クラスの アドバイスも必要とされるであろう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年令: 木工コース主任がカウンターパートとなり、 年令 30 才位, 日本に 2 9ヶ月の研修受講済で上記 LLPPKK の上級資格取得者。					
⑤ 現地で利用できる機材: jointer, thicknesser, circular saw, radial arm saw, band saw, lathe machine, 等。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国では青少年外交が課題と多くあり、昨今より青少年に技術を習得させ、非行, 犯罪防止に力を入れたい。よって、この訓練所でも、子弟が大層にアツク、訓練生総数で 1987 年には 1,200 名を予定している。LLPPKK 資格は、ただマレーシアでも 4 年程教えるか、取得しなくてはならない。この取得により、就職もより有利になる。隊員にはこの LLPPKK 合格者数のアツクが期待されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): (二級建築士), (実務経験 3 年以上)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 41 年 9 月 11 日

調査者氏名

八 林 明 生

03186020

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Firestone Instructor (日本語) タイヤ 木 工	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	41年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Home Affairs (日本語): 内務省					
② 隊員勤務先名称: Drug Treatment & Rehabilitation Centre 日本語名称(麻薬治療センター) 所在地: Dusu Serenti, Sg Petani, Kedah 主要都市(クアラルンプール)から 45 キロ					
③ 事業規模及び内容: 麻薬中毒患者の治療及びリハビリを行う。本年5月に始まった新しいセンター。18名から25名程度の入所者に後帰後就職を促すための職業訓練指導員を。収容数18名、コースは4ヶ月づつ4コースを行う。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各センターは最低2年入所と併せて宿泊所 体育館 職業訓練用施設 農場等がある。軍用建物。極外観。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 講師					
② 技術の範囲: 基礎的な家具の理論 実技指導。アイロンを活かした製作や電線など。道具の使用から完成まで。					
③ 業務の形態: 1日2コース 40人訓練室。理論20% 実技70%。調査時点では教員待遇は不明。一般的に教育省から出た教師を中心に10代の職種と同じコースを作成。入所時から5週間ほど到達まで作成。到達後は指導員を5週間4班か11回職業訓練 農業指導を行っている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 既婚者とおり不在であった者不明。本省からは同僚教師をカウンターパートとする。					
⑤ 現地で利用できる機材:					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無 但し 担当部署によっては ASEAN 各国から実習に来る者がいる。					
⑦ 使用する言語: マレー語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: マレーシアの麻薬中毒患者は10万人(一般には30~50万人)。ケリウとの結びつきを心配し麻薬通関人は死刑と法律がある等麻薬取締りに関しては年々増加している。食料不足 2000人程度の収容であり入所後の再入所が高く(70%後)。生活安定の再発防止に努めると担当局長が内務大臣とある程度協力を要請を受け、自らの要請を公認化に努めようとした。期待は大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 高専卒程度の教育経験のある者。忍耐強くカウンセラーとしての経験があればよい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

38

記入 昭和 60年 7月 24日

調査者氏名

山崎 昇

22786032

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ	(現地公用語) Carpentry (日本語) 木工(家具・建具)	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	61年 8月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Presbyterian Church of Ghana (日本語): プレジビテリアン教会					
② 隊員勤務先名称: Ramseyer Institute, Kumasi 日本語名称(ラムゼー-インスティテュート) 所在地: Kumasi - Kyatapatoke 主要都市(クマシ)から 13 キロ					
③ 事業規模及び内容: コーソピの教会からの援助により Presbyterian Church of Ghana のもとに設立された農業職業訓練校である。(全寮制, 3年制)					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室, ワークショップ, 寮, 農場, 畜舎。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Instructor in Carpentry.					
② 技術の範囲: 木工に関係する技術, 理論及び初歩的な製図などを初歩から教える。					
③ 業務の形態: 着任時半年位は実技指導を行なう。その後クラスをもちようになる。授業受け持ち時間は週3日間の実習と2日間(4時間程度)のクラスルームである。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: ポリテク卒, 実務経験約6年。 Building Department head. 36才					
⑤ 現地で利用できる機材: 工具は豊富であるがのこぎり, カンナなどは押し使用する。又電動マシンはない。					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 英語, Twi 語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 深刻な予算不足を少しでも補なうと同時に, Building Department の運営資金だけでも自力で獲得し, 少しでも高度な Training を行なう。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 高卒程度, 実務経験3年以上。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

⑧

記入 昭和 年 月 日

調査者氏名

金山昌功

22786033

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガナ	(現地公用語) Carpentry & Joinery	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) 木工(建具)211	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Catholic Diocese of Kumasi
(日本語): カトリック教会

② 隊員勤務先名称: Catholic Technical Institute 日本語名称()
所在地: Kumasi 主要都市(アクラ)から270キロ

③ 事業規模及び内容: カトリック教会のもとに設立した。中卒(あるいは中卒ドローアップ)を対象とした職業訓練センター(開校59年10月) 配属木工在室各2-2 15人位でスタートの予定(3年制)

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 現在ある教会内の仮校舎(4教室+2 workshop) 2"あるが 2-3年うちに新しい校舎に移転の予定

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Instructor in Carpentry

② 技術の範囲: 柱に建てる知識と(手工具)等から、棟梁主任に教える。

③ 業務の形態: Instructor として class をつたのみでなく、2-2 運営、カリキュラムの作成も実質的に自分で 2-2 をデザインしていく 必要あり

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 不詳

⑤ 現地で利用できる機材: 手工具は豊富にある。plainer, saw 等 木工機械は ほとんどないが 故障部位はなし。 主要工具はそろそろ予定

⑥ 第3国人等の配置状況: 教会にこのprojectのコーディネーターとしてオーストラリア人女性

⑦ 使用する言語: 英語 TWI

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

手に職が得られ、田舎で生活している中卒の2名中卒ドローアップの少年を2人に 教授する機会をもちたい。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

学歴不問、実務経験3年以上。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 11 日

調査者氏名


山崎 昇

22784103

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガーナ	(現地公用語) Carpentry and Joinery (日本語) 211木 工	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年3月 (88')	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): NATIONAL VOCATIONAL TRAINING INSTITUTE (日本語): 国立職業訓練機械院					
② 隊員勤務先名称: Keta Ho Catholic Diocese Ho (日本語名称(ケタホカス教区)) 所在地: Ho (ボウタサ14) 主要都市(Accra)から150キロ					
③ 事業規模及び内容: 木工や婦人子供服等のコースを持つ小規模の職訓である。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 木Sぶき屋根の土ブロックの壁を主にした極く簡単な校舎凡そ30坪程度である。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター					
② 技術の範囲: 椅子, 机, 応接用椅子, テーブル, バッド等の作製指導及びコースマネージメント					
③ 業務の形態: 生活, 交通等の便利な地帯に定住(ホースキャンプとして)して定期的な職訓を巡回し一定期間づつ滞在を繰り返して示すのインストラクターや生徒達に必要が教訓等の指導を行う。なお、指導内容, 方法, 巡回スケジュール等は現地に入った後, 現地の現場のニーズに合わせて作ることにする。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 職訓卒程度 20~50~60位の間。					
⑤ 現地で利用できる機材: エンゼルや同教区の後援に椅子, 手工具, 釘, 1工, カンナ, 1ミ, 保定期間具等がある。					
⑥ 第3国人等の配置状況:					
⑦ 使用する言語: 英語 43%					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 農産物, 漁民の子供(子)を中心に手に技術を付けさせ自立の道を開くこと, 地場産業の育成にある。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 上記の技術の範囲, 業務の形態, 相手側の期待等に柔軟に対応の出来る創造性豊かな人物であること。業務経験は多少は特に同様なもの, 亦そのことに自信をもって取り組む心意気のある人。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 2月 18日

調査者氏名 吉海伸一郎 

28386102

211木

I

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ガンビア	(現地公用語) Carpentry Technical Adviser (日本語) 211 木工	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	63年1月	

(1) 配属先

(吉海隊員)

- ① 配属先名称(現地公用語): Office of Prime Minister
(日本語): 総理府 青年職業訓練校
- ② 隊員勤務先名称: Kitwe D.C Youth Vocational Training Centre 日本語名称(キツエ市役所)
所在地: キツエ市内、74地区 主要都市(ルサカ)から350キロ
- ③ 事業規模及び内容: 青年職業訓練校は住宅局に属し、5つのセクションを持つ。(農業板金、電気、自動車整備、木工) 現在ロータリー、NORADの援助により、教室を増している
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各セクションに実習場あり、教室数は全部で2。照明は無く、雨期は特に暗い。インストラクター用事務室、机も無い等しい。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 木工技術顧問及び教官
- ② 技術の範囲: 木工全般、特に家具製作、修繕、それに関連するあらゆる事を、実習、理論を通して教えられる事。又、屋根、床など、理論を教えられる事、基本をおぼていけば大丈夫。
- ③ 業務の形態:
教室型である。教室、実習場で次の様な指導を行なう。
A. 1. 材料に関する理論 2. 構造の理論 3. 数学(初等) 製図 4. 器具類に関する理論
B. 年間のカリキュラム策定
C. 機材、材料の管理、及び購入の交渉 E. 同僚インストラクターに対する技術指導及び
D. 家具を注文する客との折衝 助言。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 同僚一名、高等職業訓練校を卒業し、インストラクターの資格を持っているが、間違えた理論を身につけている。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 木工機械使用可能(つまり電源はあるので、おれはの話) 現在、電気ドリル、グラインダーのみ使用。大抵の木工用具は現地で入手可能。日本と比較すれば安い。現地の経済水準からすれば高価である。
- ⑥ 第3国人等の配置状況: TOCV、1名。以前、西ドイツボランティアが入っていたが
- ⑦ 使用する言語: 英語 やる気を無くして去って行った

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 優秀な木工教官が少なく、また優秀な人材は、給料の良い私企業に流れる傾向にある。そこで教官を外国に求めることが必ずとらえて来るのである。またボランティアを受け入れることによって、ガンビア人教官の指導、バックにある政府からの資金、物質面の援助も期待している。

- (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ① 職業訓練校木工科修了以上、
② 木工デザインに關係する高校、または大学修了、 3. 実務経験豊富な人、
④ 英語重要 5. 初等数学、製図など教えられる、6. 木工以外の工芸にも知識がある人

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

11

記入 昭和 61 年 3 月 17 日

調査者氏名 武下 煥治

(41386011)

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
PNG	(現地公用語) Carpentry	新規	(男) 1 人	61年 12月	
	(日本語) 211 木工(大工)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): エニカセ教育局
(日本語):

② 隊員勤務先名称: Kompiam Vocational School 日本語名称(コピアム職業訓練校)
所在地: Kompiam (コピアム) 主要都市(Ubag)から100キロ

③ 事業規模及び内容:

手造りの校舎, 車庫, 畑, 小学校, 高校と
出た若者*に対し, 農業, 整備, 木工製作等の

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 授業を行う。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: インストラクター

② 技術の範囲: 木を使った机, 机, ベッド等の製作

③ 業務の形態: 男性に対し, 木工技術を伝授する。
材料はほとんど全て自然素材調製する。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材: ノコギリ, カナヅチ等 基礎道具

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: ピチニ, 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

コピアム職業訓練校は新設されたものの予算上からスタッフ
の不足がある。協力隊員によるスタッフを補充し, カン
新111 スタッフを養成してほしい希望。211 名。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○ 木工経験2年

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 18 日

調査者氏名 堀内好夫
千葉信幸

86112

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
インドネシア	(現地公用語) Tolerie Peinture	新規	(男) 1 人	63年2月	
	(日本語) 220 自動車板金	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): O.T.T.E.E.F.P. Ministère des Affaires Sociales
(日本語): 社会事業省 インドネシア人外国人労働者雇用職業訓練局
- ② 隊員勤務先名称: Centre de Perfectionnement de Mécanique Auto. 日本語名称(PTT)自動車職業訓練所
所在地: et Transport - ARIANA 主要都市(マニラ)から 5 キロ
- ③ 事業規模及び内容: この訓練所にはジーゼルエンジン科, シーシー科, カンパニエリシコ科, 塗装, 一般整備, 板金, 指導養成科をとりあつかうの科がある。18才~25才位までの学生に1年自動車に関する各種訓練を行なう。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 設備はほぼそろっている。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: インドネシア人教官のアシスタント
- ② 技術の範囲: 自動車の一般的整備知識はもちろのこと板金と塗装に関して相当の技術が必要とされる。
- ③ 業務の形態: 板金のセクションはカロッセリー1とカロッセリー2におかれています。それぞれ半年ずつ行なう。カロッセリー1は板金, カロッセリー2は塗装である。生徒は10名程で他のセクションは少ない。インドネシア人教官が指導に当たっており、その技術レベルはすぐれている。特に薄板の溶接等は日本人以上である。隊員はインドネシア人教官のアシスタントとして指導にあたることとなる。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材: 主にフランス製、イタリア製がある。

⑥ 第3国人等の配置状況: なし
⑦ 使用する言語: フランス語, マラケシ語(インドネシア方言)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 技術の国、日本から来た技術者として、日本人のやり方を知らうと意欲的である。また隊員自身によるセクションの設備機器の改善にも大いに期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):
板金・塗装に関して相当の技術が必要、日本の一般の自動車板金工場にありさえ一か月の満足が得られただけの仕事の出来る人。
(実務経験2年以上)

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 6 日

調査者氏名 高岡亨輔

41986004

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
西サモア	(現地公用語) Automobile Panel Beat (日本語) 221 自動車板金	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年3月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Public Works Department (日本語): 公共事業者					
② 隊員勤務先名称: P.W.D Salelologa Work Shop 日本語名称(サレロロカ工場) 所在地: P.W.D Salelologa Work Shop Savaii 主要都市(サレロロカ)から0.5キロ					
③ 事業規模及び内容: 従業員18名の自動車整備工場で、サバウ島で使用しているサモア政府の車輛も修理している。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 土地面積約2000平方メートルで、重機と一般車輛の整備もする建物の中に部品庫があり、板金部門は、別の建物になる。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 板金部門の責任者					
② 技術の範囲: 一般の自動車板金、塗装技術があれば良いが、鉄板の加工技術があれば良いと思われる。					
③ 業務の形態: 現場型の勤務で、カウターパート制度はないが、自らが仕事してワーカー達に指導する。板金部門の責任者としてこの部門を管理する。車種は日本製が多い。時々車以外に、家とか、船なども修理する事もある。部品は、高く、手に入りにくいので鉄板より、フェイダー、ドアも加工して作っている。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ワーカーの年は18~50才までさまざま。工業高校出身者もいるが技術水準は低い。					
⑤ 現地で利用できる機材: 必要な機材はあるが古い。バグシ工場や民間より借りる事もあるが、隊員が入った時に工場倒れかえる事になっている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: JOCV協力の員のみ					
⑦ 使用する言語: 英語、サモア語(サバウは、サモア語が主)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: サレロロカ工場の板金部門は、ドイツの隊員が出張に指導しているが、サバウ島も車の台数がふえて来ており、サレロロカ工場のこの部門もより完全なものにして欲しい。技術指導と共に、責任者を求めたい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 自動車板金、塗装、全般と長く経験している者が望ましい。 (経験5年以上が望ましい)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 10 月 8 日

調査者氏名 飯野一男

05586104

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ国	(現地公用語) METALLURGY	新規	(男) 1 人	62年 月 早い時期	
	(日本語) 冶金	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- 配属先名称(現地公用語): ministry of education
(日本語): 文部省
- 隊員勤務先名称: the institute of technology and vocational education 日本語名称(技術職業高等専門学校)
所在地: フォンラックスマン 主要都市(バンコク)から 200 キロ
- 事業規模及び内容: 主に技術系の科目を教える学校で、生徒は約 2500 名、教員は 150 名程である。
- 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- 隊員の業務上の地位: 一般教師と同じ位置
- 技術の範囲: 冶金学一般について、理論と実験を教えること。
- 業務の形態: この冶金コースは機械科に属しており、単独の学科ではない。即ち、機械科の生徒が、金属の基礎を学ぶためのコースとして、この冶金コースは存在する。この冶金コースは、学校を力を入れて築き、隊員には基礎実験を教えるか、あるいは基礎の熱処理を正しく導入して行うこと、又、実験場の改善も、タイ人教師と協力に行なうこと、教材の改善なども行なう。
- 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 大学院

⑤ 現地で利用できる機材: 電気炉(熱処理用) 2 台、かたさ試験機、顕微鏡 2 台がある。

⑥ 第 3 国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: タイ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 基礎専門が乏しく、格別なインフラがないことである。特にこの学校は冶金の分野は立派な学校であるので、期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○大卒
経験 5~17 年
年齢 27~45 歳

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

古賀(英) 記入昭和

56年 3月 20日

28386005

230 治

金

調査者氏名 奈良輪陸雄



受入希望国名	受入希望業種	受入希望人数	派遣予定
ザンビア	(現地公用語) MINE METALLURGY TEACHER	(男) / 人 (女) 人 (どちらでも可) 人	訓練開始 年 月 派遣予定 62年 12月 受入期限 年 月迄に現地到着のこと
2	230 冶金		

(1) 配属先 MINISTRY OF Higher Education

1. 配属先名称 (現地公用語): Department of Technical Education & Vocational Training
(日本語) 高等技術教育職業訓練局

2. 隊員勤務先名称: Zambia Institute of Technology 日本語名称 (ザンビア工科大学)
所在地: PO BOX 21003, KILIMBE 主要都市からの距離 (キロメートル)

3. 事業規模及び内容: 当校は技術教育の大学院系列入学生協会の下で(FORM V)卒業試験(合格上位)は者。卒業生55% 17歳から15-30% 18歳から20歳まで3-5% 工業材料 炭素材料 金属材料 電子材料 冶金材料その他全部297-7ある。(但し9%は卒業生管理員は1年以内) 教員数約90人で、40-45% 白人講師(白人英国人その他)が40%。当校は1970年11月に政府(建物) 及び1971年政府(教育材料 79-71他)の移

(2) 隊員の業務内容: 日本より送られる全額生を他毎月7000手当て支給される。授業料等一切無料。二部制授業: 国語等教育計画に従って

1. 業務上の地位: 冶金科教授
2. 技術の範囲: 冶金の理論(冶金学) 冶金(熱成法 湿成法 電気冶金) 物理冶金(圧延 鍛造 熱処理 溶接 加工冶金) 粉末冶金等。その実習を教授する。(専攻科目は冶金一般理論と精通して2つは専門。現職経験は是非とも要する)

3. 業務の形態: 教室及び実験室での講義 指導 18-24時間相当。1時間60分

4. 訓練生: FORM V, 高校卒業程度。卒業試験上位合格者

5. 利用する機材: Froth floatation cells, Magnetic separator, Ball Mills, Vacuum Pressure filters, Moisture ovens PH Meters, Gyrotory Crusher, Sieve shaker, Sample splitter, Polishing sets, etc ...

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

ザンビアはザンビアの歴史中 中間技術者の育成は良満系列特に教育分野への協力を必要としている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- ① 大学以上
- 2. 実務経験3年以上が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

21

記入 昭和 58 年 2 月 15 日

調査者氏名 平沢 昭男

03/P6021

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) foundry	新規	(男) 1 人	年 月 6 12	
	(日本語) 231 鋳造	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Education (Kementerian Pelajaran Malaysia)
(日本語): マレーシア文部省

② 隊員勤務先名称: Politeknik Ungku Omar Ipoh 日本語名称(体一技術工芸短大)
所在地: Jalan Dairy, Ipoh, Perak 主要都市(体一市内)から 5 キロ

③ 事業規模及び内容: 電気、機械、土木建築、商業の4科を擁し、学生2,000人、教員が250人いる。
政府機関及び民間企業の中堅技術管理者以上の人材を養成する短大で、船舶工学コースで唯一の
修業期間は27ヶ月で、1年目に約半年間の工場実習の義務が課せられている。生徒は、日本の大学で

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 唯一の高校2年を終った者の入学資格が得られる。
鋳造工場にはボイラ(炉口面の炉の炉内径約350mm、自動高約1800mm、前炉1台、反射炉(電炉)1台

(2) 隊員の業務内容 3ヶ月1台、電気炉2台等がある。

① 隊員の業務上の地位: 現地にスティーブとして同格又は Assistant Lecturer

② 技術の範囲: 鋳鉄、アルミ鋳造の実習指導を主にする。原理のこともわかるが、木型製作に関しても通りの経験と関連知識を持つべきらしい。

③ 業務の形態: 機械科に学ぶ学生(機械一般、生産機械、自動車、冷凍空調、船舶コースがある)約400人が体一5週間毎に一度循環し、1週間約30コマ(1コマ45分)の実技訓練を同コースで行うが、隊員は現地教員と一緒に、又は分担して学生に実技指導を行ったり、教員達に、技術指導を行う。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象学生は18~20歳くらいで、一部中等職訓練技術の学生も含まれる。知識も若干ある。現地のレベルは、日本の技術系教員養成短大の教員くらいで、鋳造と

⑤ 現地で利用できる機材: 上記設備概要欄の機材と、専門に学んだ訳ではなく、技術水準は低い。フルに活用するのは難しいが、派遣された隊員及び現地教員の技量如何で、相応の機材購入の用意が受入側にはある。各訓練機器は日本製の結構良いものが揃っている。

⑥ 第3国人等の配置状況: 米国防務省の協力で1983年中に引揚が予定されている。鋳造コースにはいない。

⑦ 使用する言語: マレー語 80%、英語 20%、専門用語は英語が99%。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当国の技術社会の現状と今後の将来に対応するため、より高度な鋳造技術を学生に伝授するためであるが、肝腎の実技担当である現地教員達の、本分野に関する専門的教員訓練を怠ってきたり、非常に少ない。少くとも現在ある機械設備をいかに完全に活用して、この技量を持った卒業生を育てるべく、併せて教員を満足できる技術水準に養成するための指導が必要であり、この点で隊員に期待している。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 環境の悪さで短大卒以上の望れにくい。幕僚の困難な職種でもあるので、学歴は特に高い方がいい。但し、鋳造実務経験4、5年以上を有し、幅広い技術知識を有していることは不可欠である。出来れば木型製作に関する技術も欲しい。

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

Team: 大飯保

記入 昭和 59年 8月 28日

調査者氏名 松尾邦義 中西松之

046 8602P

231 鑄 造

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン	(現地公用語) Foundry (日本語) 231 鑄造	新規 <u>交替</u>	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	60年 7月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Bulacan College of Arts and Trade					
(日本語): ボラカソ工業大学					
② 隊員勤務先名称: 同上 日本語名称()					
所在地: Malolos Bulacan 主要都市(マニラ)から 40キロ					
③ 事業規模及び内容: 大学のテクニカルコースの学生に鉄・非鉄金属による鑄造に関する職業教育を行っている。生徒は1,2年格々10名程度					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 別紙参照					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 講師					
② 技術の範囲: インストラクター⇒技術指導 所工場の現場員として					
の鑄造技術 中子を利用した造型技術					
③ 業務の形態: インストラクターとして鑄造科の開発 具体的に鉄・非鉄金属の溶解炉の操作指導 造型技術として中子を利用した砂型造型指導 以上の業務を模型科 機械科とのタイアップで行なう					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 鑄造技術もバグロツド(サンフェルナンド)工業大学で学ぶ 24才					
⑤ 現地で利用できる機材: 溶解炉としてキエボラ、ルツボ炉(ワークス使用)、造型機材として中子乾燥炉及び造型道具マシンのほかはいろいろ 基本的な機材は揃っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: タガログ語, 英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 鑄造科の開発 及び 模型科、機械科とのタイアップにより 学校内外で必要な手工具類、生活用品等と生産出来さ状況を作りあげること					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
高専卒業で機械科あるいは金属工業科を履修した者 最低2年程度の実務及び指導経験が必要					
※ 事務局記入 7					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 9 月 23 日

調査者氏名 和泉 守

221-86-018

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
エチオピア	(現地公用語) Manufacture of Dies	新規	(男) / 人	年 月	
	(日本語) 231 鋳造	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Industry
(日本語): 工業省

② 隊員勤務先名称: Kotebe Metal Tools Factory 日本語名称(コタベ金属工場)
所在地: アディスアベバ 主要都市()から キロ

③ 事業規模及び内容: 人員は約220名で、簡単な農機具(77.シベル、カマ)及びハンマー、ツルハン、ドライバー等を鋳造及びプレス抜モレしており、他の工場との違いは、鋳造プレス型の製作も行っている

④ 設備概要(写真添付が望ましい): サーフェイスグラインダー、レーズマシン、シーティングマシン、打板用プレス、溶鑄炉

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 技術アドバイザー

② 技術の範囲: 鋳造プレス型の製作のみではなく、新しい機具の開発、改良も行っている

③ 業務の形態: 同工場内の鋳造、プレス型製造セクションにて、同セクションの人員に対し、技術的指導を行うとともに、自身の各種の型を製作する。又、新しい機具の開発(デザイン)、改良等の大まかな仕事となる。その他に、各種製作用マシンのメンテナンスも行われる可能性がある。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 同セクションの約18名
カウンターパート4名、30才台、全般的に経験豊富者が多い。

⑤ 現地で利用できる機材: サーフェイスグラインダー、レーズマシン、シーティングマシン

⑥ 第3国人等の配置状況: ポランド人1名 メカニカルエンジニア

⑦ 使用する言語: 英語 アムハラ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 当工場は、型製作の製品成型まで一環で行っており、この様な工場は当国に於て他にない。そこで日本の優れた技術の導入を大に希望しており、又、少人数で大規模な機具作りをするの希望もある。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

5年以上の経験者

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 2 月 25 日

調査者氏名 山口 廣治

28386005

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ザンビア	(現地公用語) Foundry Engineering	新規	(男) 1 人	62年12月	
	231 鋳造	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Higher Education
(日本語): 高等教育省

② 隊員勤務先名称: National Council for Scientific Research 日本語名称(国立科学技術研究所)
所在地: P.O.Box CH30158 Chelston, Lusaka 主要都市(中心)から23 km

③ 事業規模及び内容: 1967年に設立され、鋳工業、科学技術、農林及び天然資源に肉付、調査研究、情報収集及び提供を目的としており、食品加工、建築、原子力、鋳工業工場の建設、機械工学、材料工学等16項目に亘る調査研究を行う。日本科学技術庁の助成

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 各種調査研究の基盤的な施設はあり、また、未整備の施設もあり、予算マンパワー不足も併せて今後とびだしの整備が期待されている。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 鋳造技術師

② 技術の範囲: 鋳造技術に関する基礎づくり及び指導

③ 業務の形態: 鋳造に関する機材は、また備わっていない。
最終的には鋳造技術による各種部品、機材の製作を目指している。
高温度炉、鋳造機材、高温度時の操作機具等の整備と、
操作の指導 (基本)

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ザンビア大学及び各種専攻学校を卒業した者及び一般技術員候補者 23 ~ 35才程度

⑤ 現地で利用できる機材:

基本的な機材は、また備わっていないが、簡単なフイコ的なものは有る。
しかし、案内宗着後、具体的な導入指導が必要となる。

⑥ 第3国人等の配置状況: なし (軽高温度炉等)

⑦ 使用する言語: 英語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ザンビア国立科学技術研究所として、標記した調査研究を遂行しているが、人材不足、予算不足等もあり足踏状況が絶えず、このため、
ある。中小企業等の技術開発に際して、各種部品の国内生産が出来ない様に、
部品不足を改善して、車輻や機械が再び活動し、他の工業製品を
生産に誘導する事を望まれている。また、この期に際して、
生産に誘導する事を望まれている。また、この期に際して、

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

・ 7年程度の鋳造技術経験者が望ましい

197

※ 事務局記入: 経験年数も理論と実務で、新設工場は充分と思われ、
基本的な設備の事が指導が望ましい、外交的、交渉能力がある人が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 2 日

調査者氏名 本郷 誠司, 小林 育夫

86109

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ホンデュラス共和国	(現地公用語) Fundación de Metales (日本語) (231.) 鑄造	新規	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年2月	
(1) 配属先 文部省 Ministerio de Educación Pública					
① 配属先名称(現地公用語): Dirección General de Educación Técnica (日本語): 技術教育局 (文部省)					
② 隊員勤務先名称: Instituto Técnico "Luis Bogran" 日本語名称(ルイス・ボگران工業学校) 所在地: Tegucigalpa D.C. 主要都市()から キロ					
③ 事業規模及び内容: 専攻技術者育成を目的とした6年制工業学校。工業全般にわたる。実習作業28.6%, 基礎理論(一般科目)22.2%, 技術理論29.4%, 基礎科学19.8%を習得させる。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 教室18, 講堂1, 図書館1, バスケットコート2, キーボールコート1, カフェテリア1, 実習工場(自動車機械工作, 溶接, 板金, 冷凍空調, 木工, 鑄造, 電気), 各種実験室。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 鑄造技術教官					
② 技術の範囲: ルツボ・炉によるアルミ・青銅・黄銅溶解と生型で行うための鑄造方案・材料組成・各種分析方法・材料試験等を徹底させる。					
③ 業務の形態: 授業 07:00 A.M. ~ 01:30 P.M. (昼間), 06:00 P.M. ~ 09:30 P.M. (夜間), 土・日・休日あり, 12月, 1月と長期休暇あり。1クラス10~20名で行なわれており, ほぼ実習の比重がかなりのウェイトをおいている。鑄造は各実習コースの1つであり, 対象者は工業機械を専攻する4年制生の半年間にわたって週2日(日時間)の授業が行なわれている。(年次によって多少の変動がある。)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象者は13~18才(日本の中・高生に相当)。カウンターパートは日本で9ヶ月の研修の経験を持つ。					
⑤ 現地で利用できる機材: ルツボ・炉(4, 容量5kg, 20kg, 40kg, 90kg), 砂型棒(5), 力カ(8), 金属組織用顕微鏡, バフ研磨, 高速切断機, グラインダー, コンタマシ, ミキサー, 炭素容量装置, Gas Pressure Tester, 万能試験器, 粒度分布測定器, マイクロ・ビッカース試験器。					
⑥ 第3国人等の配置状況: なし					
⑦ 使用する言語: スペイン語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ホンデュラス政府は, 産業振興, 工業レベル向上のため, 優秀な技術者の育成に注力している。鑄造においては, 材料組織, 砂の分析などの基礎研究を充実させることに期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) (鑄造に関する金属材料学, 化学分析(砂などの)に精通していること。)					
※ 絶対条件です。					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

22

記入 昭和 61 年 9 月 12 日

調査者氏名

鈴木規子

03186022.

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) (Welding) Mechanical Engineering	新規	(男) 1 人	62年 7月	
	(日本語) 240 溶接	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Kementerian Pelajaran Malaysia
(日本語): マレーシア教育省

② 隊員勤務先名称: Politeknik Ungku Omar Ipoh 日本語名称(イホ-技術工業短大)
所在地: Jalan Dairy, Ipoh, Perak 主要都市(イホ-市内)から 5 キロ

③ 事業規模及び内容: 1969年に設立されたマレーシア最大のポリテクニクであり、機械、土木、建築、電気、船舶、商業の5科を有する。生徒数約2,500人、教職員数約400人。船舶科を除き、修学期間は27ヶ月で、1年目に約半年の工場実習の義務づけられ

④ 設備概要(写真添付が望ましい): 2100。生徒は日本の学制で11高校2年を終えて入学資格を得る。下記(2)の⑤参照、写真別添

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: Lecturer (講師)

② 技術の範囲: 一般電弧、酸素、アセチレン、TIG、CO₂半自動、サブマージア-7溶接機を用いた溶接技術及び知識。

③ 業務の形態: 実習場に於ける学生に対する実習指導及び同僚教員への実習指導併せて実習場、設備機器のメンテナンスの補佐。実習は機械科(機械一般、生産機械、自動車整備、冷凍空調、船舶の5コース)に学ぶ学生約400人が、それぞれ5週間に1度循環する形で行われる。1週間約30ユニット(1ユニット45分)の実習訓練を各コースの学生に実施。学校は1年4学期制で、1学期は10週間、各学期の間は2~4週間の休暇がある。授業時間は朝8時より午後4時15分迄。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象学生は18~21才。同僚教師は3名(技術系教員養成大学卒)で、年齢は25、28、32才。

⑤ 現地で利用できる機材: TIG(アメリカ製、空冷)4台、MIG(ナショナル、CO₂ガス使用)4台、サブマージア-7溶接機(アライノケリジナアメリカ製トランス)1台、ガス自走式切断機1台、フランス製切断機(フランス製)1台、溶接棒乾燥機(イギリス製)1台、電弧ガス溶接設備(各10人分)1台。

⑥ 第3国人等の配置状況: 自動車整備コース、電気科に協力隊員が1名ずつ。

⑦ 使用する言語: マレー語。英語も併せて使用されることが多い。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 社会のニーズに対応するため同校は1985年後期よりTIG、CO₂半自動、サブマージア-7溶接機を導入したが、現地側講師は実務技術面での経験が乏しく、学生に十分に教授できず、現在の状況である。隊員には実習面での補佐が期待される。田頭康男隊員(59/2)の交替要請

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

○(実務経験4~5年以上) ガス溶接、被覆ア-7溶接、CO₂半自動溶接、TIG溶接、サブマージア-7溶接の経験があり、幅広い関連技術と有すること。年齢28才以上、短大卒以上

※ 事務局記入

65187

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

110

記入 昭和 62 年 2 月 6 日

調査者氏名 古賀正孝
浜本峰富

03186110

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名
マレーシア (サラワク)	Welding Instructor (現地公用語) 240 溶接 (日本語)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年12月	

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): Ministry of Social Development, Sarawak.
(日本語): サラワク州社会開発局

② 隊員勤務先名称: Pusat Latihan Pembangunan Belia Kuching 日本語名称 (74年青年職業訓練所)
所在地: Jalan Pಂದing, Kuching, Sarawak 主要都市 (74年) から 1.5 キロ

③ 事業規模及び内容: 17~25才までの青年男女の職業訓練所である。現在、10人のインストラクターで、130名の生徒を訓練している。1年コースで技術重点主義、国家試験合格率 80% で非常に優秀な訓練所である。1) 大工 (2-20) 2) 家具 (2-20) 3) レイアウト (2-30) 4) 配管 (1-20) 5) 伸縮機 (1-30) 6)

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 溶接 (1-10) のコースがある。全寮制。経費は州政府負担である。トレーニングに必要な基本的な設備は大体ある。(別途参照)

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 溶接コースの講師。

② 技術の範囲: 溶接及び切断技術一般 (特に板金・製缶の技術が求められる)

③ 業務の形態: 訓練所教官 (1人) と隊員として協力して技術訓練に当る。カリキュラム作り、トレーニングシステムコースの設定等の業務と、国の技能検定試験 (LLPPKK) の指導要領が非常に時代遅れとなっているので日本の新しい技術をもとめて改善すること。コースは試験の初・中級合格を目的としているが、企業に求められる技術水準が高まることも目標としている。日課、起床 5:00、マニマ体操、マニマ、7:30 食事、講義及び実習 9:00~12:45、12:45~2:00 昼食・休み、実習 2:00~4:15、以降は自由時間である (スポーツ)、6:00 食事、9:30 消灯となっている。講義は週 2 時間、それ以外は実習。現場教官と協力して活動を行う。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 17~25才までの小中学校卒業者を対象として初・中級の資格獲得と訓練終了後実働することを目的。カウンターパート (同僚) は ITM (マラエ科大学) 卒業後民間で働いていた。

⑤ 現地で利用できる機材: 10台 gas welding, 10台 Arc Welding.
一般的な必要機材は一通り揃っている。

⑥ 第3国人等の配置状況:

⑦ 使用する言語: マレーシア語 (マレーシアの職業訓練所と比較して)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在職業訓練所としてはマレーシア随一 (大工、家具、レニカ、配管部内) の技術を持つ生徒を出している。又国家技能検定試験合格率 80% である。現状 (企業等) に例した技術レベルの向上を強く望んでおり、日本からの技術移転をしてほしいとのこと。特に国家試験指導要領が時代遅れのため改善を望んでいる。訓練所の大きな目標として青年達の就職率を高めること、ここに隊員としての活動が期待されている。この溶接コースは 1986 年に開設された新しいもので、現地教官と隊員として協力してカリキュラム作り等を行って欲しい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

- 1) 電気及びガス溶接免許又は相当の資格を有する者。
- 2) 実務経験 2~3 年 (製缶・板金の知識が求められる) 望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 7 月 10 日

調査者氏名 佐尾 一 孝二

04686103

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
フィリピン共和国	Welding 240 溶接	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): NATIONAL MANPOWER AND YOUTH COUNCIL (NMYC) (日本語): フィリピン青年評議会					
② 隊員勤務先名称: NATIONAL SKILLS TRAINING CENTER (NSTC) 本語名称(国立中央職業訓練所) 所在地: Fort Bonifacio Taguig M.M. 主要都市(マカティ)から 3 キロ					
③ 事業規模及び内容: フィリピン国営でスタッフが約240名 地方職業訓練所が12校あり、フィリピンに於ける技術系パイロットセンターとしての機能を果たし、他の学校の先生、一般企業技術系公務員等にその技術向上訓練を行っており。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 基礎訓練機材は揃っているが機材そのものの老朽化が激しい。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: ショップハンド					
② 技術の範囲: 実務経験6年以上、溶接全般に渡って知識があり十分その技術を使いこなせること。例 パイプ溶接、CO ₂ 溶接、TIG					
③ 業務の形態:					
1. インストラクターの技術技能向上					
2. 技術向上訓練のサポート					
3. 各機材装置の保守管理					
4. 教材開発					
5. その他					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: インストラクターは40才以上で、全員大半知識に用には十分持っているが技能が伴っていない。					
⑤ 現地で利用できる機材: AC 溶接機 (Daihen, SAAB, etc) x 18台。 AC-DC 溶接機 (Lincoln) x 1 TIG (Miller & National) x 2 MIG (National) x 1 CO ₂ (Miller) x 1 Pipe cutter (Rex) x 1 Pipe Posioner (マヤ社) x 1. etc.					
⑥ 第3国人等の配置状況: ナシ					
⑦ 使用する言語: 英語、タガログ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ニニNMYCに於てJOCV隊員は12年以上も派遣され続け、JOCV隊員の知識、技術に対しては評価が高い。今現在技術向上訓練をニニOMSDA中2(南)にているが、消耗品の供給がままならず訓練に支障をきたすことが時々ある。しかしJOCV隊員には優先的に消耗品の供給が行われる。隊員は信頼されている。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 実務経験6年以上 英語堪能 N-3UH N-3P A-3UHS A-3PS TIG この上はAWS-6GRの資格者であれば、最低の最低条件としてパイプの裏面溶接ができること。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和62年3月5日

調査者氏名 植所卓也

05286104

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
スリランカ	(現地公用語) Welding (日本語) 240溶接	新規 <u>交替</u>	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministry of Youth Affairs and Employment. (日本語): 青年問題雇用省.					
② 隊員勤務先名称: NYSC Training Center 日本語名称 青年対策評議会訓練所 所在地: Batangala, PANAWALA. 主要都市(コード)から 70 キロ					
③ 事業規模及び内容: 総合的な青少年活動とその育成を旨としている。NYSCの訓練所はその活動の一部であるが、全国16ヶ所に保有する併に農村部の無職の青少年を文壇に実践的職業訓練の機会を与え、雇用促進を目的とする。当センターは、訓練コース10コース、年間受け入れ定員数260人。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 実技学習棟、男子、女子宿舎棟、草の所の集合室棟、調理室棟各1棟、職員用住宅-6棟など、その他農場、運動場など、全面積45エーカー。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: インストラクター.					
② 技術の範囲: 溶接一般の実技と理論 ガス溶接 アーク溶接 製図					
③ 業務の形態: 16歳から29歳までの無職の青少年20名に一年間の訓練をする(1月開始、12月終了)。訓練時間は午前8:00から11:30と午後1:30から4:30であるが、NYSC本部から製品等の依頼があるため、これらの生産も行う。また、自動車整備コース、金属加工コースが同センター内にあるが、これらのコースと相互の訓練を持つこと(共通部分)が要求されている。なお、訓練生、職員と併に所内に宿舎生活力があるが、休日に行なわれる奉仕活動や各種の行事等への積極的な参加を求められる。訓練生は一般に高等な教育を受けていない者が多いため、計算の練習も必要となる。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者-農村部の無職で教育を十分に受けていない青年男女、カウンターパート有り、29歳、工業高校卒。					
⑤ 現地で利用できる機材: アーク溶接機3台(デンマーク製とスリランカ製) ホール盤1台(日本) 切断機1台(スリランカ)、グラインダー1台(デンマーク)、バイス7台、ガス溶接-2台、工具-式(7名分)その他。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 英国人Project Trustボランティア英語教師2名、ほか隊員3名。					
⑦ 使用する言語: シンハラ語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 1981年に訓練所がスタートし、現在設備も充実し、1986年から1年、訓練期間6ヶ月から1年へと延長された。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 人 経験年数3年以上、 <u>板金製図</u> 、 <u>機械製図</u> ができれば、 (工業高校卒)					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 3月 10日

調査者氏名 堀内好夫

149-86-101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
チュニジア	(現地公用語) Soudure (日本語) 240 溶接	新規 交替	(男) 人 (女) 人 (男女不問) 1人	63年2月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Ministère de l'éducation de l'enseignement et de la recherche scientifique (日本語): 文部教育科学研究省					
② 隊員勤務先名称: Faculté des Sciences et Techniques de Monastir (日本語名称(モナステール理工学部)) 所在地: MONASTIR 主要都市(ラニス)から200キロ					
③ 事業規模及び内容: 当国唯一の総合大学チュニス大学の理工学部でモナステール市にある。敷地面積は約10000㎡、約800名の学生と120名の教師がいる。学部内には、数学科、機械工学科、工祝キニ学科、電気学科、化学科があり、今回の要請は、6年制をとる機械工学科からのものである。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 設備面では、学部として一番よくそろっている方で、実習に最低限必要なものは一応そろっている。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 機械工学科の研究室助手(技官)					
② 技術の範囲: 溶接の基礎から最新の技術まで幅広く求められている。基礎的乃至しては、ガス溶接、電気溶接、特殊溶接が上げられる。					
③ 業務の形態: 機械工学科の研究室助手として約45名の学生に対し、実習と理論を指導する。学生の1、2年生は準備期間で教養と基礎学習をおこなう。試験に合格したものが3年生として本格的に実習に入っていく。4年生は前半3ヶ月間セミナーに参加し企業等の技術者を招き新しい知識を取り入れ、最後の6ヶ月間は卒業製作に当る。隊員はその研究の補佐及び助言をおこなう。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 約45名の学生(男子のみ)、ドクターの資格をもつ教授15名、他助手10名					
⑤ 現地で利用できる機材: 実習室内にある機械はすべてフランス製である。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 学部内にはフランス人10名、ポランド人1名がいる。					
⑦ 使用する言語: フランス語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 中進国としてさらに産業技術を発展させたいと考えている当国では、最新のテクノロジーの普及とその為の技術者養成の必要を感じている。その技術者養成所として、新しく理工学部が1978年に南校し、その任に当たっている。教授陣の80%は仏国・米国等に留学経験があり、日本の先端技術についても知っており、日本からの技術協力に非常に期待している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと) ○(大学卒(機械科))、実務経験2年以上、初代隊員なので中途半端な隊員を取ることがなく次回選考にまわしてほしい。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 6 日

調査者氏名 高岡 亨輔

41987107

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
サモア	(現地公用語) Welding (日本語) 溶接	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	63年3月	

(1) 配属先

① 配属先名称(現地公用語): Public Works Department
(日本語): 公共事業者
② 隊員勤務先名称: P.W.D. Salelolaga Work Shop 日本語名称(サレロラガ工場)
所在地: P.W.D. Salelolaga Work Shop Savaii 主要都市(サレロラガ)から 0.5 キロ

③ 事業規模及び内容:
従業員18名の自動車整備工場で、サモア島で使用しているサモア政府の車輛と修理している。
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 土地面積2,000平方メートルで、重機と一般車輛の整備をする建物と、部品庫、別棟板金部門の建物がある。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 溶接部門の責任者
② 技術の範囲: 3-7. ガス溶接に加え、銲金、アルミのカス溶接に対する知識。

③ 業務の形態:
現場型の勤務で自らが仕事に従事すると共に、サモア人の技術指導とする。カウンターパートの制度はなく、部門の責任者として部門の管理を担うと共に材料の手配なども行う。重機や一般車輛の他に、船や、建物、船などの溶接も行なう。サレロラガ工場の他に、バティレ工場の方も指導する事になると思われる。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: ワーカーの年は18~50才ぐらいまでさまざま、工業学校出身者もいるが技術水準は低い。

⑤ 現地で利用できる機材:
必要な機材はある。特別の場合、バティレ工場、民間工場より借りる場合もある。

⑥ 第3国人等の配置状況: JOCV 隊員のみである。
⑦ 使用する言語: 英語、サモア語(サバ島はサモア語主) 言葉の心配はなし。

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:
現在、付られている良いという状態で、強度や美しさなどの点で技術的に低いので、隊員の指導により、サモア人ワーカーの技術向上を求めている。

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):
JIS Z 3801, A-2F, JIS 3841, SA-2F と同等か、それ以上の免許と日本での実務経験がある方が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 9 月 8 日
 調査者氏名 国際協力事業団
 マラウイ事務所
 奈良 輪 睦 美

243-86-006

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マラウイ	(現地公用語) Painting & Coating	新規	(男) 1 人	62年12月	
	(日本語) 250 塗装	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): MINISTRY OF WORKS & SUPPLIES
 (日本語): 工業補給省
- ② 隊員勤務先名称: PLANT & VEHICLE HIRED ORGANIZATION 日本語名称(重機車輛貸貸局)
 所在地: リロンゲエ・ボデイツョンプ 主要都市(リロンゲエ)から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 政府の各省庁が使用する車輛の貸し出しを行っており、フランチヤ(本部)、リロンゲエ、ムズに各地域支部が置かれ、リロンゲエでは建設機械、各種車輛の塗装、整備を行っている。
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Mechanical Supervisor
- ② 技術の範囲: ラッカー-塗装、色合せ、板金
- ③ 業務の形態: P.V.H.O. 所有の車輛の保守整備の一環として塗装を行う。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 専門的教育を受けていないヤカニク。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 塗装用一般機材(スプレーガン等)
- ⑥ 第3国人等の配置状況: 全体の管理者として英国人、協力隊員(自動車整備)
- ⑦ 使用する言語:

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: P.V.H.O. 全体を通じて塗装の専門家はおらず、本地域支部では、これまで2名の隊員が職場長として活動し、実績を上げている。
- (4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

1. 実務経験 3年以上

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 01 年 8 月 29 日

調査者氏名 飯野

05586016

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ国	(現地公用語) TEXTILES	新(規)	(男) 人	60年 月 早い時期	
	(日本語) 260 織物	交替	(女) 人 (男女不問) 1人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称(現地公用語): *ministry of education*
(日本語): *文部省*
- ② 隊員勤務先名称: *Technical college* 日本語名称(工業高等専門学校)
所在地: *ラブリ県ホータラム市* 主要都市(バンコク)から100キロ
- ③ 事業規模及び内容: *全国に約80校ある工業高等専門学校のうちの1校で、工業系の学科にはだけでなく、商業系、デザイン系の学科もあり、教職員70名、生徒1200名。*
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: *一般の教師と同じ位置*
- ② 技術の範囲: *織物と言っても範囲が広いが、この場合、織物デザインの分野である。自動織機で柄織又は模様織をする時の図面をデザインする*
- ③ 業務の形態: *絵柄や模様、入った服を織る時、その絵柄や模様を織るために元になった図面がある。その図面に書かれたデザインに従って、服に色々の絵柄や模様が出て来る。隊員はそれ故、そのデザインに関して技術移転を行なう、ということであり、特に現場のタイ人教師に技術指導を行なう。*

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材: *自動織機、染色機、管経機、フリンディング器など多数*

⑥ 第3国人等の配置状況: *なし*

⑦ 使用する言語: *タイ語*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *様々な織物があるが、特に柄もの又は色々の模様の入った織物を作る時に、自動織機に組込められる1回柄くデザインされたものがあって、その1回柄に新しいデザイン方法をほどこしてほしいという希望である。*

(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):

*短大又は高専卒以上
経験 5~7年
年齢 25~30才*

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62年 2月 15日

調査者氏名 小野 隆一

13186101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
71277	(現地公用語) IMPRIMERIE	新設	(男) / 人	62年 2月	
	(日本語) 270 印刷	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): *Ministère de la Santé Publique*
(日本語): 保健省
- ② 隊員勤務先名称: *Saviso Centrale Education Sanitaire* (日本語名称: 教育広報課)
所在地: ラバト 主要都市()から キロ
- ③ 事業規模及び内容: 保健省の属する広報センターの事業所であり、全職員70人
統計、広報活動の促進、指導、制作の機関である。① Heidelberg offset 52x72cm KORS
② Praktika 45x58cm. MAN ROLAND製印刷機(4色刷、鉛字)
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): ① Rataprint (20x1) Typ R-20 45cm x 64cm. (故障中)
② AB. Dick offset 385 (45x58cm) 4色刷機, ③ ~~Drum concept~~

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 印刷技師
- ② 技術の範囲: 上記機械の保守、修理、技術の精通している者。現在3色刷機による
の印刷を行っている。今後は4色刷機による印刷を行う技術者、経験豊富な
③ 業務の形態: 専門的業務
上司の指示を受け、その計画立案を依頼され、広報活動用のポスター等の中
心の印刷を行っている。一部は印刷機が10人から20人技師による技術
指導の業務もある。現在の所では、多色印刷(4色刷)は、カサハラの民間会社
に委託している。この事業所の中には5つの課があり、現在の所では5人いる。資力の補助
は UNCTAD や OMS (WHO) から行っている印刷が多い。修理の業務は少ない。
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 主課程見習いの印刷技師が最初の学校
で2年間の研修、その後現場で3年ほど働いてきた。
⑤ 現地で利用できる機材: 3色の印刷機が4台あり、10人、1人2台はすべ
る故障しているが修理が出来ない。他の3台は、西ドイツ製を中心とし、1台は
新機である。
- ⑥ 第3国人等の配置状況: 大川和郎 印刷技師 1人 (行方不明)
- ⑦ 使用する言語: フランス語、アラビア語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現在の3色から多色刷機(4色刷印刷)に切り
替えるの計画があり、そのための技術者を求めている。設備は、可能な限り
の(上記設備概要参照)に入ってもらい、これを活用して世に役立つ人材を育成
して欲しい。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと): 4色刷機印刷を日本の学校で習得した
者か、上記の機械を操作、保守できる人。各職5年以上、
専門学校の印刷、習得者 5年以上の人が望ましい。

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 2 月 20 日

調査者氏名

島山敬, 金子仁

25386101

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ニジェール	(現地公用語) imprimerie	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) (270) 印刷	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

① 配属先名称 (現地公用語): *Ministère de l'Éducation Nationale, de l'Enseignement Supérieur et de la Recherche*
(日本語): 教育・研究省

② 隊員勤務先名称: *Institut National de Documentation de Recherche et d'Animation Pédagogiques* 日本語名称 (教育技術研究所)
所在地: *Recherche et d'Animation Pédagogiques* 主要都市 (= P×) から キロ

③ 事業規模及び内容: (INDRAP)

INDRAPは小・中・高校・大学の教育システム・内容の研究をしている。従業員約60名。印刷局はこの研究所に付属する機関であり、主に教科書を印刷している。印刷局の従業員は11名。

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): オフセット印刷機 (A-3判) 3台, 製版カメラ, 断裁機, 折機, 7-790 (5倍機として使用), 複写輪転機, 刷版焼付機, その他。ほとんどがイギリス Gestetner社。

(2) 隊員の業務内容

① 隊員の業務上の地位: 技術者 (mécanicien もしくは technicien)

② 技術の範囲: オフセット印刷全般についての知識及びオフセット印刷機の保守・修理。

③ 業務の形態: オフセット印刷機の保守・修理が主たる業務となり、その他の機械に力をつけていることとなる。その合間に日常業務 (製版, 印刷等) の技術指導及び印刷局全体の業務の流れを監督する。

勤務時間 (日~金) 7:30~12:30, 15:00~18:00 (土・日) 休み

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 印刷局で働く従業員全員がカウンター・パートとなる。技術水準はある程度高く, 24~40歳。

⑤ 現地で利用できる機材: 機械修理に必要な工具・テスター等は不十分だが、オフセット印刷に必要なものはそろっている。

⑥ 第3国人等の配置状況: フランス人 (40歳) 1人。

⑦ 使用する言語: フランス語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

印刷機械の操作については知っているが、その保守・修理が充分行われておらず技術者が求められている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

① オフセット印刷全般に詳しいこと, ② オフセット印刷機を修理できること, ③ 経験5年以上, ④ 印刷会社より印刷機メーカー出身者が望ましい

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 61 年 9 月 1 日

調査者氏名 級野

05586017 273 製 版

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
タイ国	(現地公用語) PRINTING	新規	(男) 1 人	62年 月 早い時期	
	(日本語) 印刷科	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): *Ministry of education*
(日本語): 文部省
- ② 隊員勤務先名称: *The institute of technology and vocational education* 日本語名称 (技術職業高算算門学校)
所在地: *チェンマイ県チェンマイ市* 主要都市 (バンコク) から 750 キロ
- ③ 事業規模及び内容: *ITVEチェンマイ校は生徒数3000名、教員数200名で工業系の学科だけではなく、商業系の学科もなしている。印刷学科は出来て間もない学科で、生徒数も少ないが、機材は多数あり、教員の可能性のある学科である。*
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい):

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: *印刷科の教師*
- ② 技術の範囲: *特に写真製版の技術が専攻されている。又、スキマナに就いても知っている。必要がある。即ち、写真製版とスキマナの下つ技術部門である。*
- ③ 業務の形態: *この印刷科は、この写真製版とスキマナの部分が弱点である。この部分に強い人に来てもらい、生徒に対する指導、タイ人教師の質の向上、学習場の定員を通常の業務としておこなう。ということである。オフセットに関しても、その知識があれば業務上大変有効である。*

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

⑤ 現地で利用できる機材: *新しい機材はそろっている。*

⑥ 第3国人等の配置状況: *協力隊員4名、ドイツ人1名*

⑦ 使用する言語: *タイ語*

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: *印刷科には機材は一定はあるが、その機材を有効に使用し、行く技能技術が乏しい。特に写真印刷又は写真製版、それとスキマナに関した技術が十分でない。協力をしてほしいという希望である。*

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

*工業高専卒以上
経験 写真製版・スキマナに関し経験が
3~5年
年齢 25才以上*

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

25

記入 昭和 59 年 9 月 14 日

調査者氏名 鈴木規子

03186025

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Shipbuilding Drawing and Moldlofting (日本語) 290 小型造船(船舶設計・製図)	新語 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	年 月 61 12	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Kementerian Pelajaran Malaysia (日本語): マレーシア文部省					
② 隊員勤務先名称: Universiti Teknologi Malaysia 日本語名称(マレーシア工科大学) 所在地: Jalan Gurney, Kuala Lumpur 主要都市(首都圏内)から キロ					
③ 事業規模及び内容: 当国唯一の国立技術総合大学であり、学生数 6,000 名(年齢は 19才から 27才)、職員数 600 名を擁する。3年制と5年制から成っており、船舶工学科は機械工学部の中に4年前に設立されたコースである。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 船舶模型(長さ1m程度)2台、実習用水槽1台、他学科の溶接機、工作機械等 (添付写真参照)					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 機械工学部船舶工学科講師					
② 技術の範囲: 当国の造船所では最大1万トン級までの船舶を建設しているが、隊員には 5~6,000 トン級の船舶の設計・製図実技と現図展開(Moldlofting)					
③ 業務の形態: 実技と学生及び現地人講師に指導している。又、併せて実習場の整備・管理も行う。教壇に立つことは当面は、実習中心に担う。					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象となる学生は 20才前後、カウンターパートは同僚講師2名(38才、博士; 27才、修士、日本で4ヶ月間の研修受講済)及び					
⑤ 現地で利用できる機材: 現地人ファニッシン —(添付写真、船舶模型、水槽及び他学科の溶接機等)一社の設備は整っている。					
⑥ 第3国人等の配置状況: 溶接科、冷凍空調科、工作機械科、鋳造科に協同隊員が各1名					
⑦ 使用する言語: マレー語(英語の理解もあれば) 及び 上記4の38才のカウンターパートはバンクレーン人					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 望ましい)					
現存、船舶工学科では実技と充分指導できる講師がいないため船舶設計・製図の理論を中心に教えている。又、現図展開(Moldlofting)については、実際の造船所では最も必要とされている技術であるため、必要とされる人物がいないため全く教えられない。隊員には実技中心に、特に Moldlofting の導入が期待					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): された。					
(高専卒以上(機械工学か船舶工学専攻)、中小規模の造船所に20 実務経験(特に現図展開(Moldlofting)の実務経験は不可欠)3年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 60 年 3 月 17 日

調査者氏名 鈴木 規子

03186111

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
マレーシア	(現地公用語) Marine Engineering (日本語) 290 小型造船(船舶工学)	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	61年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Kementerian Pelajaran Malaysia (日本語): マレーシア文部省					
② 隊員勤務先名称: Politeknik Ungku Omar, Ipoh 日本語名称(イホ-技術工芸短大) 所在地: Jalan Dairy, Ipoh, Perak 主要都市(イホ-市内)から 5 キロ					
③ 事業規模及び内容: 電気, 機械, 土木建築, 商業の 4 科を擁し, 学生 2,000 人, 教員が 250 人 いる。マレーシアにある 5 校(含建設中)の Politeknik の中で最も古く, 1969 年設立。船舶工学コースは 機械科に含まれ, 修学期間は 4 年間。生徒は日本の学校でいう高校 2 年を終え入学資格を 得る。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 船舶工学の実習場は 4 の所に分かれおり, 各実習場に それぞれ, ディーゼルエンジン(2717ル・4717ル), タービン, ボイラーがある。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: 船舶工学コース 講師					
② 技術の範囲: 船舶工学一般, 特にディーゼルエンジンに関する知識, 技術は不可欠。 浅くとも幅広い知識と経験が必要である。					
③ 業務の形態: 1 学年 30 名からなる生徒に教える船舶工学一般の指導。特に 実技が中心となる。					
対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢: 対象学生は 18~23 才位。同僚となる 講師・テクニシャン 7 名。年齢 30 才程度。実技能力は低い。					
⑤ 現地で利用できる機材: ディーゼルエンジン 2 台(2717ル・4717ル), タービン, ボイラー (添付写真参照), 他学科の溶接機 1 台。					
⑥ 第 3 国人等の配置状況: 自動車科, 建築製図科, 電子科, 溶接科に協力隊員が各 1 名。					
⑦ 使用する言語: マレー語 (英語の素養を求めは望まない)					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 船舶工学コースには 1984 年春まで日本人専門家が 11 人と から設備的にはかなり整備されたものの, 専門家帰国後, 現地人講師が十分に機材を 利用できなかったため理論中心に教えられいる。マレーシア全国で 2 校に 1 校の船舶工学コースのみ 1 校として, 理論だけでなく技術と併せて船舶技術者育成のための隊員の協力が必要と している。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): ○(高専卒以上(船舶工学専攻)) 商船大学等の指導経験が求めら れる。					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

P6027

記入 昭和 62 年 3 月 25 日

調査者氏名

大峯 保三

受人希望国名	受人希望業種	区分	受人希望人数	受人希望時期	合格者名※
ペルー	(現地公用語) Ing. AGRONOMO	新規	(男) 1 人	年 月	
	(日本語) 105 野菜 (食用作物)	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Universidad Nacional de Arequipa
(日本語): 国立ペルー大学
- ② 隊員勤務先名称: Facultad de Agrícola 日本語名称 (農学部)
所在地: Huancayo Arequipa 主要都市 (ノバ) から 400. キロ
- ③ 事業規模及び内容: 農学部、地産学部、経済学部等を持つ、地方の国立大学

④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 農学部はノバから 15km の地方に 12ha の実習農場を持ち、かんがい設備も置いている

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 大学の教師
- ② 技術の範囲: 大学の実習農場で、各種作物 (玉ねぎ、じゃがいも、人参、レタス、アスパラガス、トウモロコシ等) の実験栽培 (圃場 3000m)
- ③ 業務の形態: 大学側教師 (カレッジ-ホスト) とともに栽培の基礎指導を行うとともに実習農場にて各種栽培実習を行う。

⑥ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

ラマリアナ農科大学、35歳 Ing. JOSE NAVARO

⑤ 現地で利用できる機材: トラクター 1台、スロウ20、77 散水器等。
実験用種子は不足あり

⑧ 第3国人等の配置状況: TEL

⑦ 使用する言語: スパイン語

(3) 受人希望の背景と受人国の期待: 同大学はもと農場を確保して 1987年~1997年までの5年計画で農場の整備、基礎実習圃場の拡充を計画している。圃場 3000m² 地身にあることから一部施設園芸の実習を計画していることから日本の協力を期待している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印を圈むこと):

○ 大学 農業作物科卒業 経験 2年

※ 事務局記入

2/2

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86030

記入 昭和 62年 3月 18日

調査者氏名 大壽保志

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ノル	(現地公用語) ING. AGRICOLA	新規	(男) 1人	年 月	
	(日本語) 120 農業土木	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Universidad Nacional de Amcash
(日本語): 国立アマカシ大学
- ② 隊員勤務先名称: Facultad de Agrícola 日本語名称 (農学部)
所在地: Haara Amcash 主要都市 (リマ) から 400 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 農学部、他、法学部、経済学部等を持つ地元の国立大学。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 農学部はワラス市から 5km の地味に 12ha の農場を持ち、かんがい設備も整っている。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位:
- ② 技術の範囲: 農学部へ学生に対し、かんがい測量、施工、水管理等の講義と、実習を指導する。
- ③ 業務の形態: ノル一人教官と共に学生の実習を行い、併せて地域住民にアドバイスも普及を促す。地域住民の要請に対し、学生とともに測量実習(実地)を指導し、施工も管理する場合もある。

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:

ラ、マリーナ農科大卒 35才 (ing. JOSE NAVARO)

⑤ 現地で利用できる機材: 測量機器一式

⑥ 第3国人等の配置状況: 無し

⑦ 使用する言語: スパノッシュ語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 同大学はやっと農場を確保でき、1987年~1991年にかけての農場を主とした指導計画を作ったが、面積 3000m² の地域もあり、大型農業ができていない。狭い土地を有効に利用して、日本のかんがい技術の導入を望んでいる。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学、農業土木科卒

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 16 日

調査者氏名 中村正明

(42586001) 181 漁具 漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
YOE 諸島	(現地公用語) Natore Fishermen	(新規)	(男) 1 人	62年12月	
	(日本語) 漁具漁法	交替	(女) 人 (男女不問) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Fisheries Division, Makira Provincial Government (日本語): マキラ州 水産局					
② 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称(水産局) 所在地: Kira Kira (マキラ州州都) 主要都市(ギラギラ)から 0 キロ					
③ 事業規模及び内容: ギラギラにある水産センター(日本政府援助)及びこの支局において漁民に対する漁業指導、漁獲物の処理・冷蔵・貯蔵、販売を行っている 職員数 6 名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 水産センター 製氷機、冷蔵庫(2.3m ²)、船外機、修理場					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Assistant Fisheries officer					
② 技術の範囲: 沿岸漁業(底釣、定置、曳網、一本釣、刺網)の技術					
③ 業務の形態: マキラ州の漁民及びこの水産局の extension work に対する沿岸漁業の技術指導、漁獲物の処理・保存、漁民の組織化(漁業協同組合の設立)					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 水産局職員、カウンターパート 漁民の技術水準は低い、学歴も中卒以下					
⑤ 現地で利用できる機材: (1) ④ 項の設備以外に、船外機、漁具若干					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: 英語、ロシン、イングリッシュ					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: 現 staff の技術知識レベルでは、漁民に対し充分の技術訓練を行うには不十分であり、より効果的な漁法の導入を期待している。又水産局の指導をより容易に、効果的に行うため、漁民の組織化を計画しており、この面での期待も大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 実務経験 1 年以上 水産高校卒業以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 16 日

調査者氏名 中村正明

(42586002) 181 漁具漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
Y0E-諸島	(現地公用語) Fishing Gear & Methods (日本語) 漁具漁法	新規 交替	(男) 1 人 (女) 人 (男女不問) 人	62年12月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Fisheries Division, Guadalcanal Province
(日本語): カタルカニ州 水産局
- ② 隊員勤務先名称: Lambi Fisheries Center 日本語名称 (ラビ水産センター)
所在地: Lambi, Guadalcanal Prov. 主要都市 (ポート) から 60 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 水産センター (日本政府の援助) を基盤に 製氷販売、
漁獲物の買付け、冷蔵、出荷 (ポート) している。
職員数 3名
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 水産センター、冷蔵庫、製氷機、発電機。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Fisheries Officer
- ② 技術の範囲: 沿岸漁業 (突網、一本釣、三縄、刺網等) 技術。
- ③ 業務の形態: 週四の漁民に対する技術指導 及び 漁獲物の処理、集出荷の指導。
- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 中卒以下 住民は文盲が多い。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 刀、鉋、機、トック。
- ⑥ 第3国人等の配置状況: 無
- ⑦ 使用する言語: ビジネス英語、英語

- (3) 受入希望の背景と受入国の期待: カタルカニ州西側の村落で、水産業以外の現金収入の道がなく、水産業開発に対する期待は高い。又、日本政府の援助による水産センターの有効利用が望まれている。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

水産高校卒業以上
実務経験 1年以上 (特に釣りの技術と有ってほしい)

※ 事務局記入

215

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

記入 昭和 62 年 3 月 16 日

調査者氏名 中村正明

(42586004) 181 漁具 漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ソロモン諸島	(現地公用語) Master Fisherman	新規 交替	(男) 1 人	62年3月	
	(日本語) 漁具漁法		(女) 人		
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Fisheries Division, Central Province					
(日本語): トラタラ州政府 水産局					
② 隊員勤務先名称: Fisheries Division 日本語名称(水産局)					
所在地: Tulagi, Central Province 主要都市(Honiara)から約30分南					
③ 事業規模及び内容: ツラギ本局、ヤンティ、レニルに支局を持つヤンティに日本政府送与の水産センターがある。現状は、残念ながら十分に機能してはいないと言ふ。					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 見るへきものはない。					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Master Fisherman					
② 技術の範囲: 沿岸漁業 特に底引き網、立網の技術					
③ 業務の形態: 水産局職員に対する沿岸漁業技術の指導 漁具資材の発送、在庫管理 底曳資源(100~300m水深)の調査					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢:					
⑤ 現地で利用できる機材: 和船 12m、船外機、					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: ビシシ英語、英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: ツラギにはソロモン太平洋の基地があり近代的な漁業も自家消費的漁業(一本釣、溜水)も並存する。一見現状を望んでいる漁業も沿岸漁業は立ち遅れが著しくその開発の期待が大きい。					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと):					
水産高校卒業以上					
底曳(マッコイ類)の漁業経験と有るともが望ましい					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受人希望調査表

記入 昭和 62年 3月 16日

調査者氏名 中村正明

(42586016) 181 漁具 漁法

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ソロモン諸島	(現地公用語) Fishing Gear & Methods (日本語) 漁具 漁法	新規 <input checked="" type="checkbox"/> 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	62年12月	
(1) 配属先					
① 配属先名称(現地公用語): Fisheries Division, Western Province (日本語): ウエズタン州政府 水産局					
② 隊員勤務先名称: Gizo Fisheries Center 日本語名称(ギゾ水産センター) 所在地: Gizo, Western Province 主要都市(Gizo)から0キロ					
③ 事業規模及び内容: ギゾに本局を置き、マーケット、マーケティング、冷蔵、輸送、 の5支局を持つ Marketing, Extension, Shipping Refrigeration の4部門を持つ 職員数 18名					
④ 設備概要(写真添付が望ましい): 日本政府援助の水産センター、製氷機 冷蔵庫、船舶機 関修理場 漁具作成室、和船5トン型					
(2) 隊員の業務内容					
① 隊員の業務上の地位: Fisheries Officer					
② 技術の範囲: 沿岸漁業(釣漁業 刺網漁業) 船舶機 の操作、保守、 小型船舶の操船					
③ 業務の形態: 水産局職員に対する沿岸漁業技術指導、 漁具漁法の研究と周辺漁民に対する技術指導、 漁獲物の処理、販路、流通指導					
④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 他の水産局と比較的レベル は高い、漁民は、初等教育以下で文盲も多い					
⑤ 現地で利用できる機材: 和船、カー、船舶機、漁具					
⑥ 第3国人等の配置状況: 無					
⑦ 使用する言語: 英語、ロジン英語					
(3) 受入希望の背景と受入国の期待: Gizo Fisheries Centerは当国の水産局の中では 最も大規模な漁業資源も豊富で、適切な技術指導を行 う、開発効果の最も期待される操業漁業の発展を望んでいる					
(4) 隊員の資格・条件(絶対条件について○印で囲むこと): 水産高校卒業以上、○小型船舶操縦士以上の航海免許 実務経験1年以上					
※ 事務局記入					

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86/01

記入 昭和 62 年 3 月 20 日

調査者氏名

大峯保志

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名※
ペルー	(現地公用語) ESTADISTICA PESQUERA	新規	(男) 1 人	63 年 1 月	
	(日本語) 水産統計	交替	(女) 人 (男女不問) 人		

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): UNIVERSIDAD NACIONAL AGRARIA - LA MORINA
(日本語): ラ・モリーナ国立農科大学
- ② 隊員勤務先名称: FACULTAD de PESQUERIA 日本語名称(水産学部)
所在地: Av. La Universidad s/n La Maxima 主要都市(リマ市内)から キロ
- ③ 事業規模及び内容: リマ市郊外の実験農場, 付属研究所を含む大規模なキャンパスを有しペルーの水産学部門の最高学府である
- ④ 設備概要(写真添付が望ましい): 2隻の練習船を有し, 9人の指導スタッフがいる。他に, マイコンと2台 - IBM-PC を持っている。

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: 技術アドバイザー
- ② 技術の範囲: 各種水産資料の統計, 資料整備 (コレクターとして) 又漁民に対して漁正な経営指導を行う
- ③ 業務の形態: 水産学部の資料センターに勤務し同センターの整備運営資料の収算をカウチングレポートとして行う。漁正な漁業経営を助める

④ 対象者及びカウンターパートの技術水準, 学歴及び年齢:

同大学卒, 水産経営科の責任者 3名 /mg Raul Tomalla Legala

⑤ 現地で利用できる機材:

マイコン IBM-PC

⑥ 第3国人等の配置状況:

水産学部にはなし

⑦ 使用する言語:

スペイン語

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

同大学水産学部には過去に協力隊(航海機)の隊員が(漁法)を指導したため, 今回要請の水産経営部門には今年で協力が打ち止めでありますが, 大学も今後この部門の強化, 拡充をほころと計画している。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

大学, 経営学科卒(水産に詳しい人)

※ 事務局記入

青年海外協力隊派遣受入希望調査表

86103

記入 昭和 ¹⁹⁸⁷ 年 1 月 9 日

調査者氏名 伊達 陽一

受入希望国名	受入希望業種	区分	受入希望人数	受入希望時期	合格者名洋
NO10	(現地公用語) Ceramica (日本語) 陶磁器	新規 交替	(男) 1人 (女) 人 (男女不問) 人	87年 4月	

(1) 配属先

- ① 配属先名称 (現地公用語): Ministerio de Educación
(日本語): 文部省
- ② 隊員勤務先名称: Colonia Inmaculada de Puerto Oropa (日本語名称)
所在地: Misión Francisca Santa Teresita, P.O. Oropa 主要都市 (リマ) から 450 キロ
- ③ 事業規模及び内容: 教会付属の小・中学校 (または成人学校としての使用も可)
木工に關する設備・焼物に關する設備あり。
- ④ 設備概要 (写真添付が望ましい): 電気窯・レンガ焼成窯・2基の薪窯・ガスコンロ・電気扇

(2) 隊員の業務内容

- ① 隊員の業務上の地位: Asesor Técnico: 技術アドバイザー・焼物の教師
- ② 技術の範囲: 陶器に關する作業全般
屋根瓦・レンガ・陶器作品・食器類 etc.
- ③ 業務の形態: 上記の教会に付属する小・中学校にて小・中学生あるいは近所に在住の成人に対して屋根瓦・レンガ・種々の焼物の作品の創作を指導する。
学期は 4月 から 12月 まで。

- ④ 対象者及びカウンターパートの技術水準、学歴及び年齢: 対象者は 12才 ~ 20才 (または成人に対して) 現在、焼物の仕事のできる人はいない。
- ⑤ 現地で利用できる機材: 電気窯 40x40x40cm (内容積)。
レンガ焼成用 毎室 3m x 3m x 4m (高さ)
昇炎式薪窯 (丸形) (小) = 内径 90cm 高さ 1m 20cm
(大) = 内径 1m 30cm 高さ 1m 30cm
- ⑥ 第3国人等の配置状況:
- ⑦ 使用する言語: Español (スペイン語)・Ashaninka (アシャニカ語)

(3) 受入希望の背景と受入国の期待:

当教会に付属する小・中学校には焼物の設備がある程度とどのっているにもかかわらず残念ながら指導者がいない。指導者さえいればこの地域の人々にとって、焼物は非常に可能性の大きい仕事である事はたしかである。生活のための焼物、また民芸品的な焼物も創作可能である。

(4) 隊員の資格・条件 (絶対条件について○印で囲むこと):

焼物の工業的知識と工業的知識を有する人。